

# 和良の郷だより

春衣号

和良おこし  
協議会発行



# 大阪産業大学 卒論発表会

## 真剣な眼差しを向ける参加者達

2月17日(木)、大阪産業大学より学生さん3名と川田美紀先生をお招きして卒業論文発表会を行いました。



(これからの発表に期待感が高まる会場)

今回は当施設「わらおこし」にての開催となりましたが、遠方やお忙しい中でも参加いただく方のためにZoomを利用したオンライン視聴も用意しました。オンラインにて北海道大学林琢也先生と四天王寺大学五十

ある方はお気軽にお越し下さい。  
◎西崎歩夢子さん「なぜ非営利目的でダンス教室を行うのかー大阪市阿倍野区ピッコロ・ソニーの事例からー」  
ダンス教室「ピッコロ・ソニー」はなぜ非営利での活動に

川飛暁先生にもご参加いただき、講評を頂きました。終始和やかな雰囲気でしたが、それぞれの発表後の質問時間には、鋭い質問にタジタジになる姿も時折見られました。発表内容をまとめたものは今後「わらおこし」にてご覧いただけますので、ご興味のある方はお気軽にお越し下さい。

こだわりのかを、教室スタッフと教室の生徒であった卒業生への聞き取り調査を通して明らかにしました。



(西崎歩夢子さん)

◎牧野翔太さん「若者の食と農に関する意識ー大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科生のアンケート調査からー」  
本研究では就職前の職業決定期にあたる大学生を対象にアンケート調査をおこない、現在の若者の食と農に関する意識を明らかにしました。



(牧野翔太さん)

◎竹嶋大地さん「都市部における移動スーパールの意義ー大阪府守口市の事例からー」  
大阪府守口市で稼働している「移動スーパーとくし丸」

を調査し、都市部における移動スーパールの意義を明らかにする研究を行いました。



(竹嶋大地さん)

発表会の最後には竹嶋さんからご挨拶をいただきました。竹嶋さんは大阪産業大学で過ごした4年間で、毎年和良を訪れてくれました。調査実習、体験ツアー、田んぼオーナー制度と、和良をたくさん感じていただいたり、和良の方々と触れ合う時間が貴重な体験だったと話してくれました。社会人となっても必ず和良を訪れると話してくれ、会場が笑顔になりました。卒業後も皆さんをまた和良でお迎えすることを楽しみにしています。



(発表会場の様子)

## 純米酒 「和良おこし」

田んぼオーナー制度・ファームトラスト制度にご参加いただいている方々からこれまでにお酒づくりのご要望を多くいただいています。

そんななか、今年、田んぼオーナー・ファームトラスト制度でつくっている和良のお米「奥美濃清流米(コシヒカリ)」を使ったお酒ができました。お酒づくりはNCI岩出さんと憩意の蔵元である笹井酒造さん(長野県松本市)に引き受けていただき、仕込んでいただきました。ラベルもオリジナルのものを作成しました。

このお酒は両制度にご参加いただき、ご希望の方にお渡しします。もしご興味のある方がいらしたら、和良おこし協議会までご連絡ください。



(「和良おこし」のラベル)

# 溪流釣り解禁

2月1日(火曜日)、いよいよ和良川の溪流釣りのシーズンがスタートしました。

まだ日陰の場所には雪が残るような朝から寒い日となりましたが、多くの方に和良川を訪れていただきました。水温も低いまま始まった朝でしたが、次第に日も出てきて、曇り空の合間から青空も見えました。ただ天然のあまごを狙うにはやはり水温が低いのかも分かりません。和良川に訪れた人から、昨年は鹿倉川で天然のあまごで気持ちよく遊ばせてもらったんだけど、今日は本流を楽しみたいと話される方もありました。

当日、和良川漁業協同組合によってあまごの成魚放流が行われましたが、釣果は様々だったようです。入れ食いのところもあったり、なかなか渋いところもあったようです。そのうちに空にも青空が広がり、川にも陽がさすようになると、少しあまごが活性化したようにも見えました。釣り人の皆さんは、餌の種類を変えたり、ルアーの種類を変えたりしながら楽しんでおられたようです。中津川からお越しの方はお昼頃までに50匹ほどのあまごを釣り上げて、これから帰って腹を抜いてご近所に配るんですよ、と満足そうな笑顔を見せていました。

昨年の秋には鹿倉川と土京川にもあまごの稚魚が放流されています。また発眼卵放流もされておりますので、どうぞ和良の溪流釣りを多くの方に楽しんでいただきたいと思います。



(各所で溪流釣りを楽しむ姿が見られた)

## システム思考 ワークショップ

1月28日(金曜日)、荒井慶悟さんを講師にお迎えして「システム思考ワークショップ」を開催しました。

何か課題がある時に、皆が集まって問題を話し合ったり、改善アイデアを考える時間をとると思います。ところが、皆が解決を目指しているにも関わらず意見の対立などで不穏な空気に包まれたり、解決策だと思っていたが、実際にやってみるとうまくいかなかったということもあるのではないのでしょうか。または、あれが悪い、などと何か一つの原因だけに目を向けてしまうこともあると思います。

地域の課題などは機械の故障とは違い、原因を取り除くことでうまくいくとは限りません。それどころか、解決策が新たな問題を生み出してしまつこともあります。

システム思考の考え方では、問題を生み出している構造(システム)を理解し、構造自体を変革することでよりよい未来をつくります。

今回は入門編として、システム思考の基礎的な考え方やループ図を書く練習をして、まずは何となく理解することを目指しました。参加者のなかにはなかなか腹落ちしない感じの方もあったのですが、ある参加者は「システム思考」の名前からしても機械的なモノだと思っていたが、結局大事なのは対話にあるのだと話される方もあって印象的でした。視野を広げて全体を俯瞰するためには、やはり皆で対話をしながら進めていくのが良いのでしょうか。

まだまだ手法としてすぐに使っていける段階にはありませんし、システム思考で全ての問題や課題解決ができるわけではありませんが、考え方や使い方などを共有していくことで、新しいツールとして使っていけたらと思います。今後、基本編、実践編と開催できたらと思います。



(グループワーク風景)

## イベント掲示板

### 市民協働センター トークイベント

とき：  
3月29日(火)  
午後7時30分

ところ：  
わらおこし  
(下洞554)

2022.3.27(Sun)19:30Star  
MusicCharge 投げ銭, Drink 持ち込み可  
わらおこし:岐阜県東上市和良町下洞554

## desksnai

[desksnai プロフィール]

## 和良町の人口

令和4年2月1日現在 (カッコ内は前月比)

